

用表ラベル：現状確認

## 「無」の重圧

### 反応ゼロの状態

投稿しても反応がない / 見られている気配がない  
DMが来ない / 読まれていない感覚



発信するほど自信が削れる

中身を届ける「前」で止まっている現実

# 入口が閉じたまま、 叫んでいないか。

- 誰の何の話か不明
- 名乗りが曖昧 / 肩書きに濁りがある
- 相手が「自分に関係あるか」判断できない

## 離脱の瞬間

**最初の数秒で、シャッターが下りている**

「入口」が伝わっていないことが最大の理由

## 「中身」を磨くのは、後でいい。

### 努力の空回り

内容不足のせいにする  
発信量を増やして解決  
肩書きを後回しにする

### 停滞の正体

実績不足だけのせい  
中身を磨けば届く発想  
入口を閉じたままの発信

入口が開かなければ、中身は「存在しない」のと同じ

# 読まれる前提を作る「一行」

**肩書き = 入口の一言**

誰に × 何を × どう変わるか

一瞬で価値が伝わる表現を置く

**「自分に向けられた言葉」だと認識させる名乗り**

## 「見つかる」感覚への転換

プロフィール離脱 → 滞在・興味の発生

反応の不在 → DM・きっかけの増加

発信テーマの迷走 → 立場の明確化

曖昧な名乗り → 「言い切れる」自信

# 十五字から二十五字に凝縮する

- 今の肩書きを書き出す
- 「誰に向けるか」を具体的に足す
- 「何を届けるか」をシンプルに足す
- **相手の変化**を一つ決めて足す
- 十五字から二十五字で整える
- 声に出して言える形に削る

# 迷走を防ぐための「入口」点検表

反応が鈍い時の見直し用 / 構造逆算図

名乗りを整える確認カード / 中身を増やす前の点検

発信前に開く、設計の基準点

用途ラベル：次の選択

## 言葉を定め、入口を拓く

肩書きを一つ仮決定する  
プロフィールを更新する  
自己紹介で一度使ってみる

反応の変化を見る。言葉を研げば、扉は開く。